年間授業計画

高等学校 令和８年度（２学年用） 教科 国語 科目 総合国語Ⅰ 年間授業計画

教　科：　国語　　科　目：　総合国語Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　2 学年　A　組～　F　組

教科担当者：　(A組：古宮)　(B組：古宮)　(C組：石黒)　(D組：石黒)　(E組：古宮)　(F組：古宮)

使用教科書：　(　　)

教科　**国語**　の目標：

【知識及び技能】　生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】　生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手として生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る。

科目　**総合国語Ⅰ**　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	領域 話聞	領域 書	領域 読	観点別 知	観点別 思	観点別 態	配当時数
1学期	「日記」 ・日記の文章の特徴を知る。 ・修辞技巧のおもしろさを味わう。 ・仮名日記が生まれた時代や文化的背景と、その作品との関わりを考える。	『土佐日記』「門出」 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めさせる。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえながら古典を読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察させる。	【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深める。 【思考力・判断力・表現力等】 「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうとする。			○	○	○	○	3
		『土佐日記』「帰京」 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえながら古典を読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察させる。 ・旅の描写の中に娘を思い出す作者の心情を理解させる。				○	○	○	○	5
	定期考査				○		○	○		1
	「漢詩ー近体詩」 ・漢詩の朗読や暗唱をとおして、言葉の響きやリズムを味わう。 ・漢詩の形式を学び、近体詩の特徴を確認する。 ・人生の哀歓や苦悩、友人への思いなどを読み取り、自分の考えを広げる。	「絶句」「竹里館」「山亭夏日」「送友人」 ・漢詩のリズムや言葉の響き、形式などの表現の特色について理解を深めさせる。 ・近体詩について興味をもち、日本の言語文化に与えた影響について理解しようとしている。				○	○	○	○	5
	「説話」 ・説話のおもしろさと後世への影響を知る。 ・登場人物の行動に注目して説話を読み味わう。	『十訓抄』「大江山いくのの道」 ・和歌の修辞について理解を深めさせる。 ・登場人物の機知に富んだやりとりを読み取らせる。				○	○	○	○	3
	「随筆」 ・随筆の特徴を知り、構成や主題を理解する。 ・自然や災害に対する作者の感じ方について、時代背景をもとに理解を深める。	『方丈記』「行く河の流れ」「安元の大火」 ・本文の修辞技巧や語句の意味や用法を理解させたうえで、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえ、自分の考えを広げ、深めさせる。				○	○	○	○	6
	定期考査				○		○	○		1
2学期	「漢文の文章」 ・文章の構成・展開を理解し、表現の特徴について考える。 ・文学と社会との関係、また、社会における文学の役割について考える。	「桃花源記」 ・漢文の文章の特徴と句法について理解を深めさせ、構成や展開などを的確にとらえさせる。 ・書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈させる。	【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深める。 【思考力・判断力・表現力等】 「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうとする。			○	○	○	○	6
	「随筆」 ・随筆の特徴を知り、構成や主題を理解する。 ・自然や災害に対する作者の感じ方について、時代背景をもとに理解を深める。	『枕草子』「すさまじきもの」「中納言参りたまひて」 ・作品から清少納言の人柄とその感性を読み取り、その特徴や魅力を探る。 ・敬語の用法とその働きについて確認する。				○	○	○	○	5
	定期考査				○		○	○		1
	「史伝ー『史記』本紀」（司馬遷） ・歴史物語としての『史記』を、文章表現に着目して読み味わう。 ・長文の読解をとおして、描写から想像される臨場感をとらえる。	『史記』「鴻門の会」 ・登場人物の性格や心情・人間関係などを整理しながら話の展開をおさえ、歴史記述の特徴を把握させる。本文に用いられた句法を理解させる。				○	○	○	○	5
	「史伝ー『史記』本紀」（司馬遷） ・歴史物語としての『史記』を、文章表現に着目して読み味わう。 ・長文の読解をとおして、描写から想像される臨場感をとらえる。	『史記』「項王の最期」 ・登場人物の性格や心情・人間関係などを整理しながら話の展開をおさえ、歴史記述の特徴を把握させる。本文に用いられた句法を理解させる。				○	○	○	○	5
	「物語（二）」 ・『源氏物語』の文学世界に親しみ、場面、登場人物の人間関係を正確に読み取る。 ・作品を取り巻く時代や文化的背景についての理解を深める。	『源氏物語』「光源氏の誕生」 ・「源氏物語」における登場人物の行動や心理を場面や状況に応じて的確に捉えさせる。 ・長編物語の構成を知り、どのように展開するかを理解させる。				○	○	○	○	6
	定期考査				○		○	○		1
3学期	「物語（二）」 ・場面の状況や人物の心情をとらえる。 ・作品を取り巻く時代の習俗や文化的背景についての理解を深める。 ・敬語などに注意して登場人物の人間関係をとらえる。	『源氏物語』「若紫との出会い」 ・「源氏物語」における登場人物の行動や心理を場面や状況に応じて的確に捉えさせる。 ・長編物語の構成を知り、どのように展開するかを理解させる。 ・平安時代の貴族文化をふまえて、登場人物の境遇や心情を理解しようとしている。	【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深める。 【思考力・判断力・表現力等】 「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうとする。			○	○	○	○	6
	「思想」 ・孟子・荀子が孔子の思想をどのように継承し、展開させたかを理解する。 ・古代思想家の主張をとおして人間の本性と自身の生き方について考える。	儒家の思想 『論語』「聞斯行諸」 『孟子』「不忍人之心」 『荀子』「人之性悪」				○	○	○	○	6
	「思想」 ・儒家・道家・法家の人間観・社会観を理解する。	道家の思想 『老子』「大道廃、有仁義」「小国寡民」 法家の思想 『韓非子』「侵官之害」				○	○	○	○	4
	定期考査				○		○	○		1
										合計 70